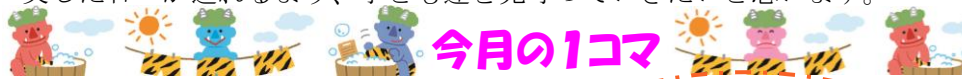


2月 幼児部だより

令和4年2月25日発行 洗足池保育園

温かい陽が差し込み、少しずつ春の陽気が感じられるようになってきました。戸外で梅の花や植物を見つけると、「もうすぐ春になるね!」と春の訪れを子ども達も楽しみにしていますよ。

そして、今年度も残りわずかとなりました。1日1日を大切に、楽しく充実した日々が送れるよう、子ども達を見守っていきたいと思います。



バレンタインのチョコ
製作をしたよ! 誰に渡そう
かな~☆

雛人形製作をしたよ! 着物の
模様を切り紙で表現しまし
た。何度も行ってきたので
お手の物です♪



2月生まれのおともだち



♪3月のうた♪

- ・うれしいひなまつり
- ・せんせいとおともだち
- ・1年生になったら
- ・思い出のアルバム

わかば組

発表会を楽しみにする子ども達。毎日、ゆうぎと劇あそびを張り切って行っています。ゆうぎでは、保育者が振り方を考えると「いいね! かっこいいね!」「もう1回踊りたい!」と何度も踊っていましたよ! 最近では、保育者の見本を見ずに踊れるようになり「もう見なくても踊れるよ!」と自信を持って舞台上で踊っています。特にボックスステップを気に入り、一生懸命練習したのでご注目ください。

劇あそびでは、1年間好きだったごっこ遊びに関連してパン屋さんの劇を行います。それぞれの動物のカチューシャを付けると、鏡を見て「可愛いね」「似合うね」等と嬉しそうに話していました。最初は、「難しくて覚えられないよ」「ちょっと緊張する」と言っていたのですが、今では少しずつ台詞を覚え、大きな声で言えるように一生懸命取り組んでいます。また、友達の台詞覚え、小声で教え合う姿が見られていますよ。ナレーター役の子は、自分だけの台本を持つ事を喜び、いつも嬉しそうに台詞を言っています。

このように発表会に向けて喜んで行う姿を見ると嬉しく思います。当日は緊張する姿も見られますと思いますが、温かく見守ってください。



あおば組

あおば組では、発表会に向けて、日々一生懸命取り組んでいます。劇だけでなく合奏や歌、ゆうぎもあるので出番が多いのですが、それも年長児クラスならではの、「出番いっぱいだね!」と言いながらも喜んでいきますよ。

劇では、『オズの魔法使い』を行う事になり、役が決まってからはどんな衣装にするかを一緒に考えたり、どんな動きで表現しようかと考えたりしながら進めてきました。物語なので台詞や出番が多いのですが、何度も台本を読み込んでいくうちに覚え、今ではスラスラと台詞を言う姿が見られています。また、台詞に動きを付け、自分なりに工夫しながら役になりきって演じる子も増えてきました。待機場所では5歳児が中心となり、「静かにね」「次は〇〇役だよ」と、待ち方や次に誰の出番なのかを知らせる姿も見られ、頼もしく思っています。

合奏では、パート練習を行う中で、同じパートの友達同士でリズムを確認したり、他の楽器のリズムやメロディーを覚えて、「ここはタンタンウンだよ」と教え合ったりしてきました。全員で合わせて演奏してみると、最初はバラバラだったので、「何か変だったね」と言っていたのですが、徐々に息が合ってきたのか、音がピッタリ合う瞬間があり、「おっ!」と演奏中に友達同士で顔を見合わせて喜ぶ姿が見られました。

これからも発表会に向けての活動が続きますが、子ども達の気持ちを大切にしながら、本番に向けて意欲的に取り組めるように促していきたいと思ひます。

